

PRESTIGEINTERNATIONAL

株式会社プレステージ・インターナショナル

〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目4番地1

TEL : 03-5213-0826 URL : http://www.prestigein.com/

キリトリ

郵便はがき

1 0 2 - 8 7 9 0

2 2 0

東京都千代田区麹町2-4-1

株式会社プレステージ・インターナショナル
経営統括部 広報・IR課 行



株主番号

該当する□内に✓(チェックマーク)をおつけください。

年齢	<input type="checkbox"/> 20歳未満 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
ご職業	<input type="checkbox"/> 会社役員 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員・団体職員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 専門職(医者・弁護士等) <input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 主婦・パート <input type="checkbox"/> 無職・年金生活者 <input type="checkbox"/> その他()
お住まいの地域	<input type="checkbox"/> 北海道 <input type="checkbox"/> 東北 <input type="checkbox"/> 関東 <input type="checkbox"/> 北陸 <input type="checkbox"/> 中部 <input type="checkbox"/> 近畿 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 四国 <input type="checkbox"/> 九州・沖縄

※本アンケートにご記入頂きました内容は、統計的に集計し、第三者に開示することはありません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 上記基準日 3月31日
 その他臨時に必要な場合には、あらかじめ
 公告いたします。

配当金受領 期末配当 3月31日
 株主確定日 中間配当 9月30日
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 諸手続きに関しましては、みずほ信託銀行株式会
 社のホームページをご参照の上、行っていただ
 きますようお願いいたします。

同連絡先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 0120-288-324(フリーダイヤル)
 (ご利用時間 9:00~17:00 土・日・休日を除く)

公告掲載方法 電子公告

	証券会社に口座を お持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の 証券会社に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合せ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社本店及び全国各支店 みずほ証券株式会社本店及び全国各支店

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましても、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(みずほ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行でお支払いいたします。



PRESTIGEINTERNATIONAL

INTERIM FINANCIAL REPORT 2015

2015.4.1 - 2015.9.30

証券コード：4290



TOP
MESSAGE

富山BPOタウンを基盤とした 安定的、継続的な成長をめざします。

株式会社プレステージ・インターナショナル

代表取締役兼社長執行役員

玉上 進一

2016年3月期第2四半期の業績について

当第2四半期の最大のトピックスは富山BPOタウンの竣工です。クライアントの求めるBCP(事業継続計画)を充足するとともに、秋田・山形でのキャパシティの飽和状態を解決し事業発展の基盤となる施策であります。業績としては富山BPOタウンに関連する減価償却費等の発生が見込まれ、前年同期比で減益になる見通しでありましたが、結果としては前年同期比で増収・増益を達成することができました。

主力のロードアシスト事業、プロパティアシスト事業、インシュアランスBPO事業が堅調に事業領域を拡大することによる増収効果とワランティ事業において家賃保証プログラムの好調な拡充と自動車延長保証・メンテナンスプログラムの収益改善が営業利益を大きく押し上げました。営業外収益として持分法投資利益、為替差益等を計上したことにより、経常利益、四半期純利益も前年同月比増益を確保いたしました。

中期事業計画について

当社は新たな中期事業計画を設定いたしました。富山BPOタウンは今までの成長トレンドを維持する重要施設と位置付けております。

既存のサービスをバランスよく成長させ、当社にしかできない新たなサービスを創造することにより着実に達成に向けて進んでいきたいと考えております。

課題と対策について

最近の景況感から採用環境が厳しさを増している状況にあり、当社においてもその影響を受けております。クライアントからの需要は高いものの、人材面での対応に更なる工夫が必要と考えております。

当社としてはBPO設置地域での地域貢献、知名度向上が人材採用においても重要なテーマであると考えており、2015年より女子実業団チーム「アランマーレ」(秋田:バスケットボール、山形:バレーボール)を始動いたしました。マスコミに大きく取り上げられる広報効果、コミュニティ行事への参加による地域密着効果と社内・地域での一体感の創出等様々な反響があり、今後ともマスコットキャラクター、ファンクラブ運営等の活動を拡充させてまいります。富山に関しても地域で非常に愛されている「ハンドボール」を競技として選択し、2017年からの活動開始に向けて準備を進めてまいります。

2015年度上期 連結業績サマリー

	前年同期比
売上高	13,470 百万円 16.3% 増 ↑
営業利益	1,520 百万円 4.7% 増 ↑
経常利益	1,672 百万円 13.1% 増 ↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,124 百万円 11.6% 増 ↑

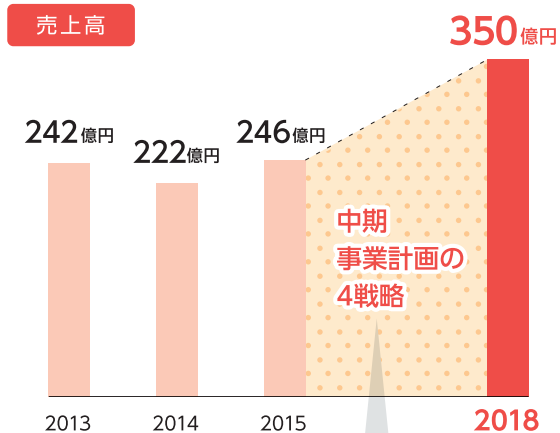
配当の状況

1株当たり配当金 6円

SPECIAL FEATURE

新中期事業計画、
始動。

年10%の成長モデルを実現するために、
戦略と戦術を策定。
プレステージ・インターナショナルは
次のステージへ。



2018年3月期数値目標

売上高
350億円

売上高営業利益率
13%

ROA
10%

ROE
15%

連結配当性向
20%

戦略 1

継続的・
安定的な成長

より継続的な雇用体制と安定的な成長を目指して、当社サービスの価値を認めていただけたクライアント企業との長期的な関係構築に取り組みます。

戦略 2

PIでしか
実現できない
サービスの創造

価格競争にさらされないために、独自の品質と付加価値を追求し、エンドユーザーの「感謝・感動」につながる差別化されたサービスを創造します。

戦略 3

地方都市での
雇用の創造・継続

雇用の創造・継続に向け、長期的なクライアントとの関係づくりとともに、職場環境の快適性に工夫を盛り込んだBPO拠点づくりを推進します。

戦略 4

女性の
雇用機会の創出

託児所やカフェテリアなどの設置、女子スポーツチームの活動など、女性がいきいきと長く働ける活躍できる職場環境づくりを進めていきます。

これまでの3年間の中期事業方針(2013年3月期~2015年3月期)では、「新しいビジネスモデルの構築」「事業インフラの開発」「提供サービスの強化」という3つの方針で施策を実行してまいりました。施策に伴い、山形BPOガーデン、富山BPOタウンの開設などによって事業基盤をより強固なものとし、クライアントへ提供するサービスの強化・拡充に努めてまいりました。その結果、業績は拡大し、2015年3月期の売上高は増収となりました。

この成果を受け、今後3年間に向けた新中期事業計画(2016年3月期~2018年3月期)では、引き続き高品質なサービスインフラを構築するとともに、事業領域の横展開+縦展開による業容拡大、従業員が長く活躍できる職場環境づくりと人事制度の構築に取り組み、2018年3月期の売上高350億円達成、営業利益率13%維持を目標に、年10%の成長をめざしてまいります。

幅広い課題を解決する「横展開」、新たな領域へ挑戦する「縦展開」、それぞれの取り組みで更なる成長をめざす。

ロードアシスト事業

Roadside Assistance



- フィールドワーク専門子会社「プレミアアシスト」のコールオペレーションを一体とした独自性の高いサービス体制の充実と、パッケージ化した商品構成により、ダイレクト系損保会社への訴求力を高めています。
- 位置情報と車両状態を瞬時にオペレーターへデータ送信できるロードサービスモバイルアプリ「Premier Call」等のアプリを活用した付加価値サービスに注力。また、事故予防分野への展開を視野に、IoT (Internet of Things) やビッグデータ分野の研究を進めています。

横展開

- ▶ フィールドワーク専門子会社とパッケージ化した商品構成による競争力の訴求

縦展開・新規分野

- ▶ アプリを活用した付加価値サービス
- ▶ 事故予防分野へのチャレンジ

プロパティアシスト事業

Property Assistance



- 新築販売から既存ストックの維持・向上に向けられているクライアントのニーズに対応し、ホームアシスト開発企業として既存ビジネスの拡充と新たな価値創造に取り組めます。また、強みであるグループでの一貫サービスに磨きをかけ、フィールドワーク専門子会社の規模と地域の拡大を図ります。
- 「住まい」の問題解決を行う基盤を発展させ、シルバー世代、中古住宅売買、スマートシティなどの「社会」の問題解決に向けた研究、開発、運用に取り組めます。

横展開

- ▶ ホームアシスト開発企業としての新たな価値創造
- ▶ ストックマーケットへの展開
- ▶ フィールドワーク専門子会社の規模・地域拡大

縦展開・新規分野

- ▶ 「住まい」から「社会」の問題解決への挑戦
- ▶ フィールドワーク専門子会社の機能強化

インシュアランスBPO事業

Insurance BPO



- 日本人駐在員向け「ヘルスケア・プログラム」の拡充と海外拠点の拡充を進めるべく、インド、インドネシア、ベトナム、メキシコ等での現地法人化を計画しています。また、バックオフィス業務を「にかほランチ」(秋田県にかほ市)で集中処理させる効率的なオペレーション体制を構築していきます。
- 海外各拠点にサービス受付を設置するとともに主要病院に専用デスクを設置し、日本人駐在員や帯同家族のサポートを強化していきます。

横展開

- ▶ 日本人駐在員向け「ヘルスケア・プログラム」の拡充
- ▶ 海外拠点の拡充
- ▶ 海外拠点でしかできないサービスに集中

縦展開・新規分野

- ▶ ヘルプデスクモデルの展開

ワランティ事業

Warranty



- 自動車延長保証や家賃保証・住宅設備保証といった保証プログラムに関して、培ったノウハウの効率化、システム化を進め、横展開していくことにより業界トップシェアをめざします。
- 「生活の安心=保証」を切り口として、リスク管理と回収のノウハウを軸に単体のサービスを有機的に結合させ、介護費用保証、医療費用保証、管理費保証などのニーズに対応できる「総合保証サービス」への発展をめざします。

横展開

- ▶ 既存サービスの業界トップシェア獲得

縦展開・新規分野

- ▶ 総合保証サービスへの挑戦

カスタマーサポート事業

Customer Support

横展開

- ▶ 富山BPOタウンを、独創的な新しいサービス創造のR&D拠点として位置付け

縦展開・新規分野

- ▶ 「処理」するオペレーションではなく「ノウハウを蓄積」するオペレーションへ

1 株主総会を富山BPOタウンで開催

2015年6月23日、富山BPOタウンで定時株主総会を開催しました。当日は、約30名の株主の皆様にご参加いただき、第29期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果などについての報告を行いました。また、報告事項と議案の審議に加え、事業説明会、施設見学会、親睦会を実施しました。



3 有期契約社員の地域限定社員への雇用展開を推進

当社グループでは、地方都市において若年層や女性が夢を持って働ける雇用環境を創造し、地域社会に貢献することを重要な基本戦略と位置づけています。その戦略のもと、有期契約社員として2年間在籍する社員に対し、勤務実績等を判断したうえで地域限定社員として登用する「地域限定正社員制度」を設けています。そして本年度は、「地域限定正社員制度」をより活用し、さらに安心して働ける環境を整え、優秀な人材を確保して地域とともに成長するため、当社BPO拠点に在籍する有期契約社員339名を対象に、2015年10月から無期雇用の地域限定社員として雇用転換していくことを決定しました。今後も毎年3回の雇用転換の機会を設け、長期にわたってキャリアアップできる労働環境を充実させていきます。

●地域限定社員登用数(登用実施期間:2015年10月1日~2016年3月1日)

秋田BPOキャンパス	256名	富山BPOタウン	22名
山形BPOガーデン	61名		

2 実業団チームのチーム名、ロゴマーク、マスコットキャラクター決定!

当社グループは、地域を元気にしたいという思いから、2015年4月に実業団女子スポーツチームを設立しました。その活動に伴い、女子バスケットボールチーム(秋田)、女子バレーボールチーム(山形)、2017年稼働開始予定の女子ハンドボールチーム(富山)共通のチーム名とロゴマーク、マスコットキャラクターが決定しました。



チーム名は、イタリア語のオレンジと海を組み合わせた「Aranmare(アランマーレ)」

マスコットキャラクター「アラマ」



2015V・サマーリーグ女子大会にて



酒田甚句(じんく)流しのパレード

スタッフVoice

より長く安心して働きたいという従業員が多いなか、有期から無期になったことにより、よりよい環境が整備され、さらなる優秀な人材確保につながるものと期待しております。特に女性割合が7割と非常に高い当社では、女性従業員が活躍できる場がさらに広がったと思います。



秋田BPOキャンパス 高島 由美

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円未満切り捨て)

科目	前期 2015/3/31現在	当第2四半期 2015/9/30現在	増減額
資産の部			
流動資産	14,673	14,916	243
固定資産	8,909	9,704	794
有形固定資産	6,051	6,691	640
無形固定資産	744	860	116
投資その他の資産	2,113	2,152	38
資産合計	23,582	24,620	1,037

負債の部

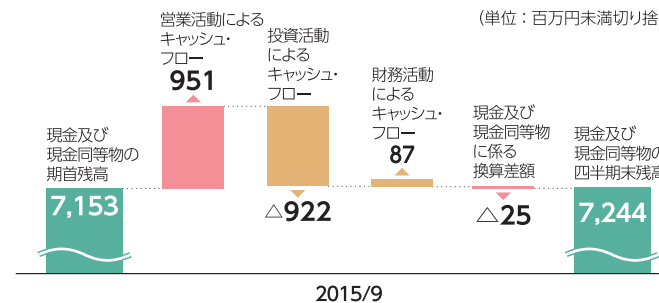
流動負債	6,740	6,076	△664
固定負債	1,350	1,801	451
負債合計	8,090	7,878	△212

純資産の部

株主資本	13,971	15,235	1,263
その他の包括利益累計額	1,433	1,375	△57
新株予約権	23	50	27
非支配株主持分	63	80	16
純資産合計	15,491	16,741	1,250
負債純資産合計	23,582	24,620	1,037

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円未満切り捨て)

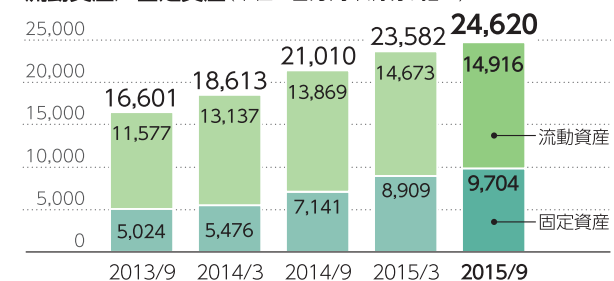


POINT 1 総資産(流動資産+固定資産)

前期末比 **1,037百万円増** ↑

総資産増加の主な内訳として流動資産について現金及び預金が91百万円増加、立替金が398百万円増加、固定資産について富山BPOタウンの建設に関わる費用など794百万円増加したことにより前期末比1,037百万円増加となりました。

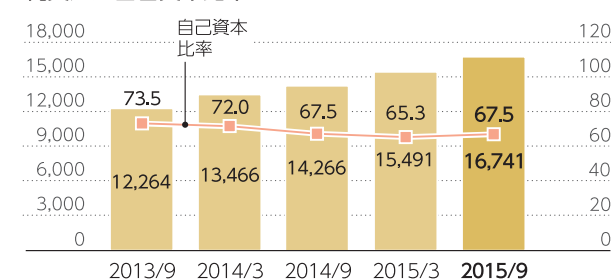
流動資産/固定資産(単位:百万円未満切り捨て)



POINT 2 純資産/自己資本比率

当第2四半期の純資産は、親会社に帰属する四半期純利益が1,124百万円であったことから前期末比1,250百万円増加となりました。富山BPOタウン竣工に伴う資産の増加はあったものの、財務の健全化を進めた結果、当第2四半期末の自己資本比率は67.5%となりました。

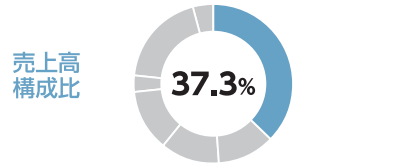
純資産/自己資本比率(単位:百万円未満切り捨て/単位:%)



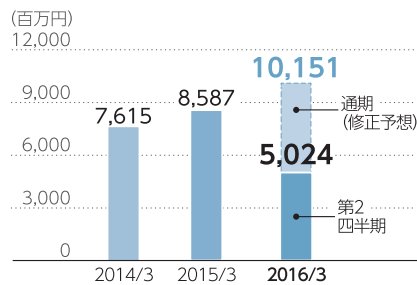
事業別業績サマリー

▶ ロードアシスト事業

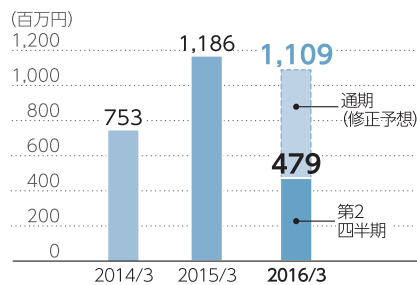
主に損害保険会社向けのサービスにおける既存受託業務の順調な拡大に加え、新規受託業務の開始により、増収となりました。営業利益については、システム化により原価削減効果はあったものの富山BPOタウンへの業務移転費用等が発生し、減益となりました。



売上高 前年同期比 **24.4%増** ↑

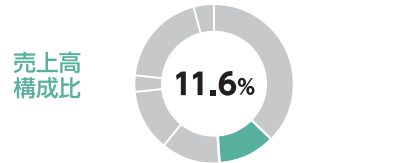


営業利益 前年同期比 **11.8%減** ↓

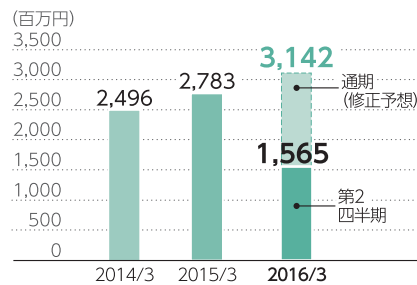


▶ プロパティアシスト事業

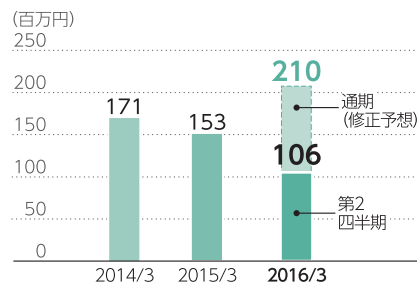
不動産向けサービス(ホームアシスト)における既存受託業務の成長により、増収となりました。営業利益については、フィールドワーク専門子会社において拠点拡充や機能強化のための先行投資が発生しましたが、売上高の拡大により増益となりました。



売上高 前年同期比 **17.9%増** ↑

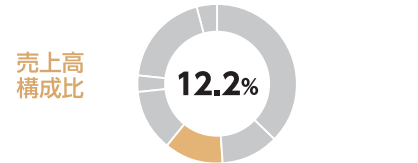


営業利益 前年同期比 **5.8%増** ↑

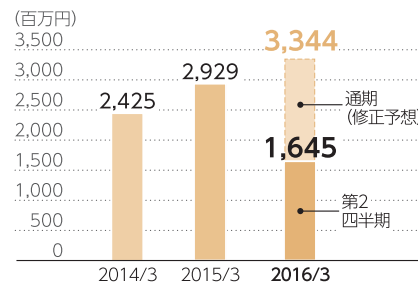


▶ インシュアランスBPO事業

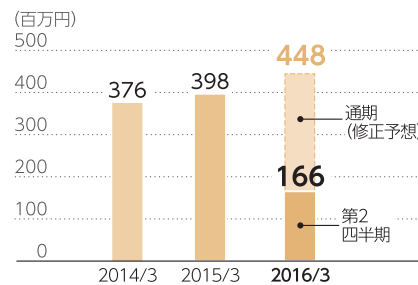
海外関連事業(クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム)の堅調な拡大により、増収となりました。営業利益については、海外拠点の拡充などの先行投資およびバックヤード業務の移転費用が発生し、減益となりました。



売上高 前年同期比 **20.0%増** ↑

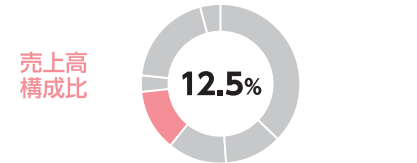


営業利益 前年同期比 **22.0%減** ↓

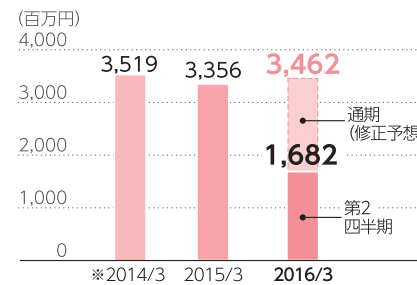


▶ ワランティ事業

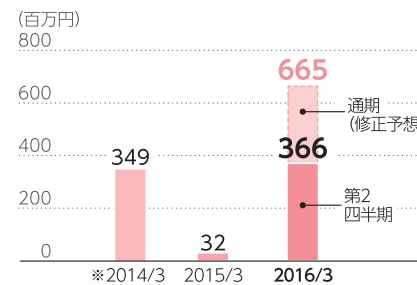
主に家賃保証プログラムが好調に推移し、増収となりました。営業利益については、家賃保証プログラムの続伸と自動車延長保証・メンテナンスプログラムの収益改善が寄与し、増益となりました。



売上高 前年同期比 **8.5%増** ↑



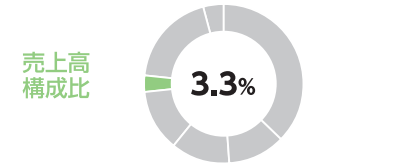
営業利益 前年同期比 **1478.7%増** ↑



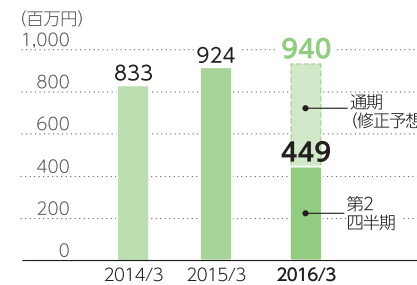
※家賃保証プログラムの会計方針を変更しておりますが、2014年3月期に関しては影響を加味しておりません。

▶ ITソリューション事業

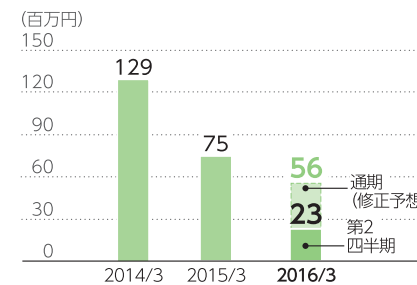
IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移したものの、システム開発など先行投資が影響し減収となりました。営業利益については、新規事業の立ち上げによる費用増加の影響により、減益となりました。



売上高 前年同期比 **4.4%減** ↓

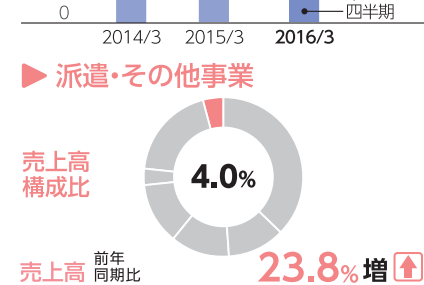
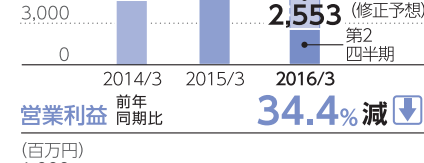


営業利益 前年同期比 **44.3%減** ↓

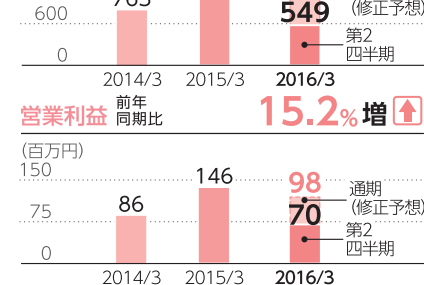


▶ カスタマーサポート事業

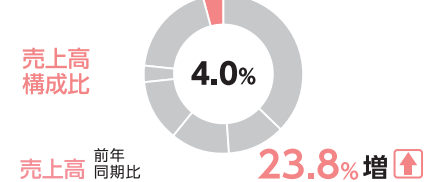
売上高 構成比 **19.0%**



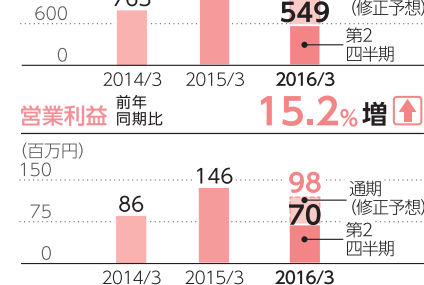
営業利益 前年同期比 **34.4%減** ↓



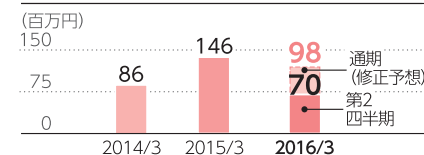
▶ 派遣・その他事業



売上高 前年同期比 **23.8%増** ↑

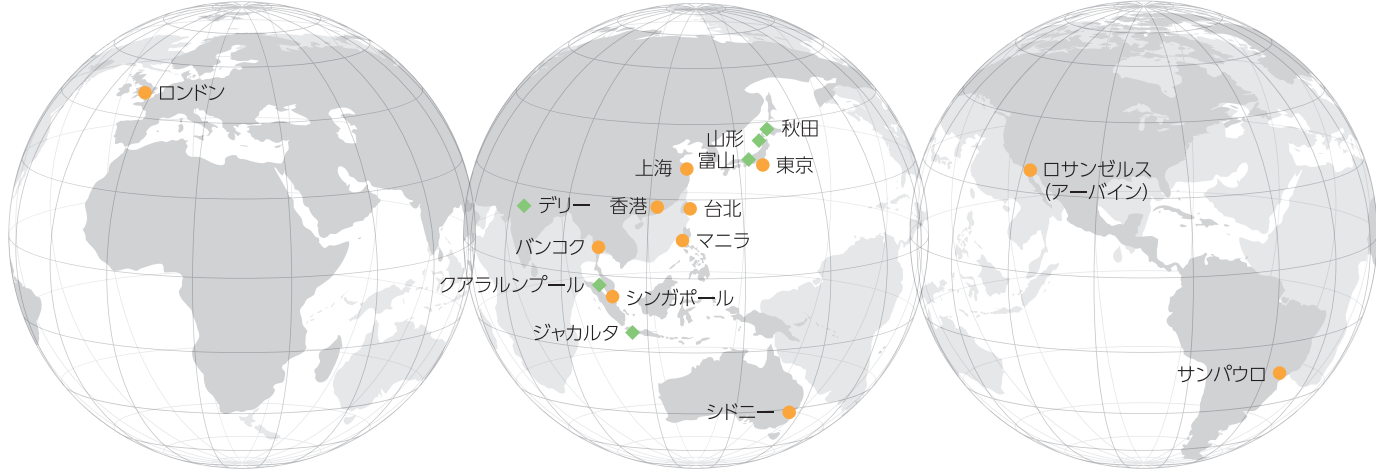


営業利益 前年同期比 **15.2%増** ↑



会社概要

ネットワーク (2015年9月30日現在)



グループ会社

国内

Prestige Humansolution Inc.
Time Commerce Co., Ltd.
Premier Assist Inc.
Premier Life Inc.
Premier Property Service Inc.
Entrust Inc.
Premier IT & Process Management Inc.

Premier Park Assist Inc.
Premier X-Value Inc.
Premier Lotas Network Inc.
Triple Ace Inc.
Premier Mobile Solution Inc.
AppGT Inc.
Premier Aid Inc.

米州・欧州

Prestige International USA, Inc.
Prestige International U.K. Ltd.
PRESTIGE INTERNACIONAL DO BRASIL LTDA.

アジア・オセアニア

Prestige International (S) Pte Ltd.
普萊斯梯基(上海)諮詢服務有限公司
PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.
Prestige International (HK) Co., Limited
PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD.
P.I. PHILIPPINES, INC.
臺灣普萊斯梯基有限公司
JAPANESE HELP DESK INC.

関連会社

Prime Assistance Inc.
(損保ジャパン日本興亜ホールディングスとのジョイントベンチャー)

会社概要 (2015年9月30日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
Prestige International Inc.
設立 1986年10月
資本金 12億6,865万円
本社所在地 〒102-0083 東京都千代田区麹町二丁目4番地1
事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング
従業員数 2,848名(連結)
拠点 世界14ヶ国 17拠点
URL <http://www.prestigein.com/>

会社役員 (2015年9月30日現在)

代表取締役兼社長執行役員 玉上 進一
取締役兼副社長執行役員 八久保 勝也
取締役兼常務執行役員 関根 浩
取締役(社外) 大向 尚子
監査役(常勤) 吉田 範夫
監査役(常勤) 金山 武志
監査役 三上 純昭
監査役 神門 いづみ

株式情報

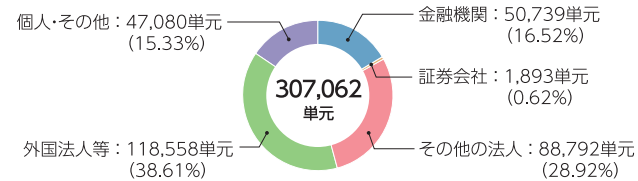
株式の状況

発行可能株式総数 106,752,000 株
発行済株式総数 31,360,700 株
株主数 2,559 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社タマガミインターナショナル	8,217,200	26.20
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,244,300	7.15
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505224 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2,200,000	7.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,498,600	4.77
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラー アカウント (常任代理人 ゴールドマン・サックス証券株式会社)	1,081,400	3.44
ビービーエイチ ファイデリティ ビューリタン ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチュニティズ フアンド (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	905,700	2.88
玉上 進一	902,000	2.87
南部 靖之	900,600	2.87
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロープライズド ストック フアンド (プリンシパル オールセクター サポートフォリオ) (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	762,100	2.43
バンクオブニューヨーク・シーエムクライアント アカ운ト ジェイピーアールデイ アイエスジー エフイー エイシー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	743,100	2.36

所有者別株式分布状況



※1単元の株式数は100株となります。

株主様へのアンケートのお願い

当社では、株主の皆様の声を伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくて考えております。お手数をおかけしますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

キリトリ

【株主の皆様へのアンケート】

- Q1. 今回のFINANCIAL REPORTをどのようにご評価されますか？**
① 大変満足している ② ある程度満足している ③ 普通 ④ あまり満足していない ⑤ 不満である
- Q2. その中でご興味を持たれた内容は何ですか？**
① Top Message ② 新中期事業計画 ③ TOPICS ④ 連結財務諸表 ⑤ 事業別業績サマリー ⑥ 会社概要 ⑦ 株式情報
- Q3. 今回のFINANCIAL REPORTをご覧になられて、当社の現状をどのように評価されますか？**
① 当社BPO事業の将来性や成長性
(期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
② 新中期事業計画
(期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
③ BPO拠点の拡大展開
(期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
④ 業績内容
(期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
⑤ 投資利回り
(期待 やや期待 普通 やや不満 不満 よく分からない)
- Q4. 当社の株主還元政策として、何を最も期待されますか？**
① 安定配当 ② 株式分割の実施 ③ 株主優待制度の導入 ④ その他 ()
- Q5. 当社のIR活動に関して、何をもっと充実すべきと思われますか？**
① 株主通信 ② ホームページ ③ 株主総会 ④ 個人投資家向け説明会の開催 ⑤ その他 ()
- Q6. 当社株式の今後の保有方針等をお教えください。**
① 中長期的に保有する ② 短期で考えている ③ 買い増しする ④ 投資収益に応じて売却する ⑤ 未定
- Q7. その他、ご意見・ご要望等をご自由にご記入ください。**

ご協力ありがとうございました。